

岡山大学算数・数学教育学会誌規定

2025.06.21

1. 名称

本学会誌は、「岡山大学算数・数学教育学会誌 パピルス」と称する。

2. 名称

岡山大学算数・数学教育学会の会員，または本学会員を第一著者とする論文で，研究論文として学会誌等に未発表のもの

3. 編集

- (1). 学会誌編集委員会を置く。編集委員長は会長をもってあて，編集委員は理事会の承認を得て会長が委嘱する。
- (2). 論文の掲載及び編集に関する事項は，編集委員会で決定する。
- (3). 本学会誌は，年 1 回刊行する。
- (4). 各論文の第 1 ページの左上に，学会誌名，号，年，ページ，また論文の最後に受理日付を挿入する。

4. 原稿執筆要領

- (1). 原稿は，原則として A4 版とし，ワープロ，タイプライター，PC 等により電子的に作成すること。図や表，写真等は原稿ファイルに埋め込むこと。
- (2). 書式は，ファイル「パピルステンプレート」を参考にすること。原則として，本文は 10.5 ポイントで作成すること。また，表題の文字は 18 ポイントにすること。
- (3). 原稿は，原則として 10 頁以内とする。
- (4). 引用・参考文献の書き方

① 文献の分類

文献は，「参考文献」と「引用文献」の区別はせず，一括して「文献」として扱う。文献に関する情報（記載事項）は，論文末尾に掲載する。

② 文献の本文中における記載形式

文献については，本文中における言及箇所括弧書きで（伊藤，1991a）のように記述する。（ ）内は，著者名，発表年〔発表順アルファベット〕とする（〔 〕は省略可能）。文献から文章等を引用する場合には，（伊藤，1991b, p. 15）のように引用ページを付加する。文献に関する情報（記載事項）は，論文末尾にまとめて記載する。

③ 文献の記載事項

それぞれの記載事項は次のとおりである。なお全て，一字ぶら下げで記入する。

和文著者は，姓と名を表記する。欧文著者は，姓を記載後，名の頭文字を表記する。姓の後のカンマと名の頭文字との間は半角のスペースを入れる。なお，著者が複数の場合は，カンマで区切って並べる。3 名以上の場合は筆頭著者「ほか〇名」（欧文著者の場合は et al.）と，略しても良い。

(A) 日本語文献の場合

(a) 書籍 (全体)

著者名 (出版年). 書名. 出版社. (復刻版や翻訳書の場合は原著の出版年)

(b) 書籍 (分担執筆)

著者名 (出版年). 章等の標題. 編集者名 (編), 書名 (pp. 開始ページ-最終ページ). 出版社.

(c) 学会誌や雑誌

著者名 (出版年). 論文名. 学会誌名, 巻(号), 開始ページ-最終ページ.

(d) 学会論文集

著者名 (出版年). 論文名. 学会論文集名, 開始ページ-最終ページ.

(e) インターネット上の文献

著者名 (出版年). 文献名. URL (参照日)

(B) 英文 (欧文) 文献の場合

(a) 書籍 (全体)

著者名 (出版年). 書名. 出版社.

(b) 書籍 (分担執筆)

著者名 (出版年). 章等の標題. 編集者名 (Ed (s).), 書名 (pp. 開始ページ-最終ページ). 出版社.

(c) 学会誌や雑誌

著者名 (出版年). 論文名. 学会誌名, 巻(号), 開始ページ-最終ページ.

(d) 学会論文集

著者名 (出版年). 論文名. 学会論文集名, 巻, 開始ページ-最終ページ. 出版社または出版団体.

※「巻」はもしあれば記入する。

(e) インターネット上の文献

著者名 (出版年). 文献名. URL (参照日)

④ 文献の記載順序

文献は, 和文と欧文を区別しないで, 次のように並べる。

著者 (共著の場合は先頭の著者) の姓の欧文表記に基づいて, アルファベット順に配列する。

同一著者による論文が二つ以上ある時は, 以下のようにする。

単著論文を発表年代順に配列する。

共著論文は, 著者全員の欧文表記に基づいて, アルファベット順に配列する。

同じ共著者による論文で, 著者の順序も同じものが二つ以上あるときは, 発表年代順に配列する。

- (5). 原稿の締め切り日は, 原則として毎年6月に開催される理事会において決定する。原稿の電子ファイルは, 本学会の事務局宛に送ること。